

# 朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校  
平成31年4月8日(月)  
4月号 児童数 906名  
TEL:048-461-0410



【学校教育目標】 「心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成」  
思いやりのある子 自ら学ぶ子 元気な子  
【めざす学校像】 「学ぶ喜びと感動のある学校」  
【朝霞六小の合言葉】 ～花あり 歌あり 笑顔あり～



## 「学ぶ喜びと感動のある学校」の推進

校長 木村 直美

3月下旬から4月にかけて三寒四温の日が続き、桜はいつもより長く咲いて、木々には若葉の緑が美しく萌え出ています。花壇には、色とりどりの花々が咲き、春爛漫、子どもたちを迎えています。

今年度も、教育活動の根幹にある「めざす学校像」を、「学ぶ喜びと感動のある学校」とし、教職員が一丸となって、朝霞第六小学校の教育の充実と発展にいつそう努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、平成31年度は、児童数906名で、スタートします。28学級という大規模校ですが、その特性を生かし、朝霞第六小だからこそできることにチャレンジしていきたいと考えています。「心豊かでたくましい人間の育成」を目指し、「学ぶ喜びと感動のある学校」にまいります。

学校は「学びの場」です。すべての活動が教育であり、学びがあります。自分だけでなく、級友や異年齢の子どもたち、教師や保護者、地域の方々と触れ合い、共存することで、得られる学びがあります。勉強したり、体験活動をしたり、遊んだり、何かをつくり上げていく中で、心が揺さぶられるような「感動」があってこそ、学校なのです。「わかる授業」「できたという達成感」「成し遂げたという成就感」を子どもたちに、たくさん味わってほしいと思います。

まず、授業においては、「読む・書く」、「計算」の基礎的・基本的な内容の定着を徹底します。何回でも繰り返し学習したり、家庭学習として復習させたりします。授業がわかる、学んだことを実際に活用できる、自信をもって表現できる、もっと勉強したくなる、そんな六小の子であってほしいものです。「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくりを実践し、よく考え、学び合い、伝え合う姿勢を伸ばしてまいります。集団で学ぶからこそ伸びる力があり、学び合い、伝え合うことで、学習は実践力として定着します。

また、豊かな心をはぐくむために、「特別の教科 道徳」の授業や読書活動の充実をさらにすすめます。子どもたちのみずみずしい感性を引き出し、共鳴させるような教育活動を展開します。「体験活動」にも積極的に取り組みます。体験を通し、自分で考え、判断する力を培い、「生きて働く力」を身に付けさせます。

そして、健康でたくましく成長できるよう、子どもたちの体力向上を目指します。運動をする楽しさを知り、生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちを育成してまいります。さらに、互いに励まし合い、目標達成、自己実現を体感しながら、心と身体を鍛える体育活動を展開してまいります。

教育における課題が山積する時代にあっても、子どもを真ん中において、保護者の皆様や地域の方々と連携し、力と心を合わせて教育に携わっていきたくと思います。「地域に開かれた学校」として皆様の願いを真摯に受け止めて、教職員一同、「信頼される学校づくり」に取り組んでまいります。